

はじめに

★ バスキュラーアクセス（以下VA）は維持透析を行なう上で大切なものである。そこで当院では2007年よりVAチームを発足し、VAの長期維持を目指しチームが中心になり活動している。

★ VA管理基準を統一する為、当院オリジナルのフローチャートを作成し、リスク分類を行なったので報告する。

方法と対象

- ★ チェックチャート使用前12か月間(2012年6月~2013年5月)と、使用後12か月間(2013年6月~2014年5月)に共通して維持透析を行っている患者に対し、リスク分類を行った。
またその期間中の血管拡張術 (PTA) ・突然閉塞によるVA再建術の件数を比較検討した。
- ★ 対象患者 * 109名(男性 : 79名・女性 : 30名)
平均年齢 * 64.5歳(±12.2歳)
平均透析歴 * 104.1ヶ月(±74.2ヶ月)

今までのVAチーム活動

★ VAチェック表の作成

- ## ★ 穿刺ミスを減らす為、
- IJ-下穿刺の導入
 - BHの作成
 - シヤントマップの作成

	n.p	やや問題あり	悪	(上申)
①脱血 不良がある(Vチャックフロー確認)	0	1	2	<input type="checkbox"/>
②止血 不良がある (以前より止血時間が延長)	0	1	2	<input type="checkbox"/>
③狭窄音が聴こえる	0	1	2	<input type="checkbox"/>
④シヤント音の低下 (吻合部 or 一部 or 全体)	0	1	2	<input type="checkbox"/>
⑤狭窄部がある(駆血時)	0	1	2	<input type="checkbox"/>
⑥狭窄による拍動部位がある(駆血なし)	0	1	2	<input type="checkbox"/>
⑦シヤント血管全体に拍動部位(腫脹)がある(静脈高血圧)	0	1	2	<input type="checkbox"/>
⑧同一部位穿刺が多い or 瘤形成がある	0	1	2	<input type="checkbox"/>
⑨シヤント肢に異常がある (腫脹・発赤・チアノーゼ・冷感・疼痛)	0	1	2	<input type="checkbox"/>
⑩ステートでのシヤント音の確認 (Pt)	0	1	2	<input type="checkbox"/>

★ 血管拡張術の スケジュール管理

FileMaker Pro - [AG - PTA]

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(M) レコード(B) スクリプト(S) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

レコード 13 合計 (ノード込み)

レコード操作: すべてを表示, 新規レコード, レコード削除, 検索, ソート

レコード: AG-PTA 表示方法の切り替え: プレビュー

AG・PTA検査管理メニュー

ID 15900

姓 勇二

性 男

前回検査日 2012/08/31

前回診察日

次回診察予定月

次回検査日 2012/09/05

PTA前回使用バルーン 大径径6mm

使用ガイドワイヤー 0.035 100cm ストレート

フォロー計画 3ヶ月後診察

現在の状態 PTA後フォロー

前回PTA日 2012/05/23

次回PTA可能日 2012/08/24

備考欄

前回検査画像

大径径4cm6mm(標準挿入) 8cm17arc100cmで2分まで拡張、2分以内の拡張を認められました。

VAチェックフローチャート

当院、透析開始時全患者VAフット・VAチェック施行



○ -

触診にて狭窄を確認する

○ +

ローリスク患者

* 毎月1回VAチェック施行

* 年1回血管エコー

VA指導

血管エコー施行

* FVO (QBx3) ↓ * RI (0.6以上)

* 血管径 (2mm以下) * 脱血不良 (+)

いずれか1つ該当

○ -

○ +

ミドルリスク患者

Dr指示確認

2ヵ月後診察

○ -

VAのAG

○ +

経過観察

血管エコー or AG

VAのPTA施行

シャント閉塞し緊急OPELした患者

PTA2回以上

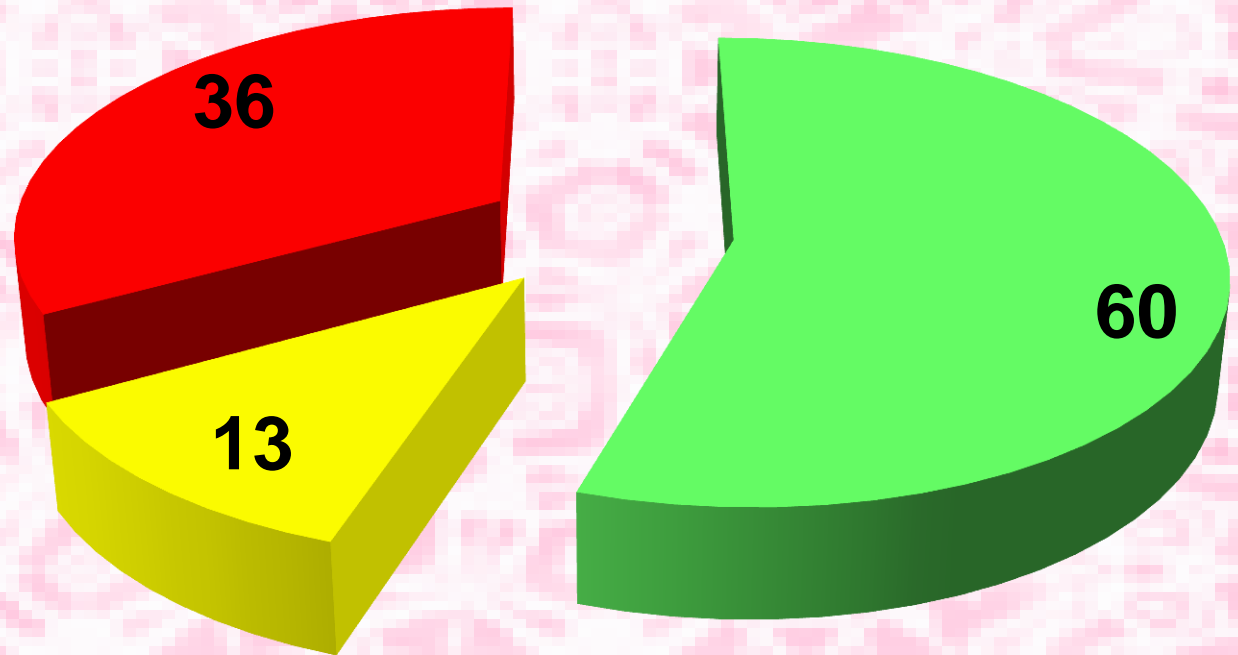
ハイリスク患者

・2週間に一度のVAチェック

・月に1度の上腕動脈のFVO測定

・VAマッサージの導入

対象患者のリスク分類



- ノーマルリスク
- ミドルリスク
- ハイリスク

n = 109名

VAマップの紐色を変えてリスク分類

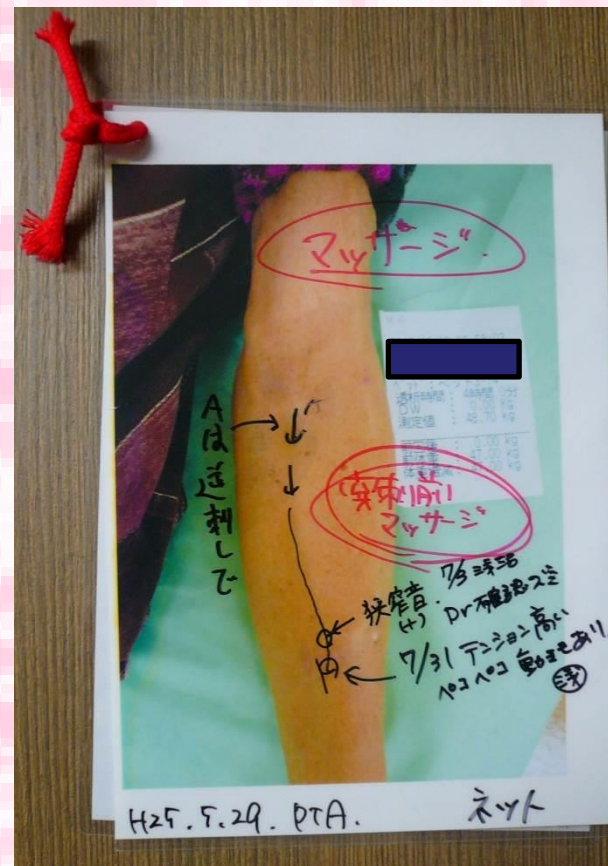
ノーマルリスク



ミドルリスク



ハイリスク



チャート導入前後の比較

■ PTA ■ OPE

29

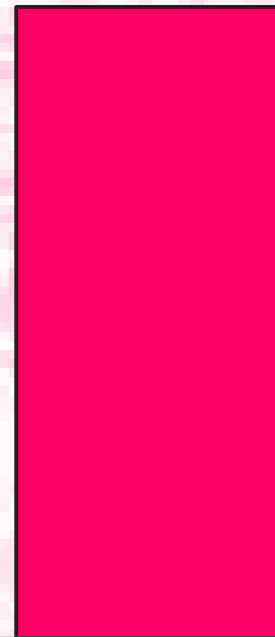


5



2012年6月～

26



4



2013年6月～

結果と考察

- ★ PTAの件数は29件から26件へ減少していた。また、突然閉塞によるVA再建術も5件から4件へ減少傾向にあった。
- ★ チャート導入前から1年が経過しVAは継時的に劣化していると思われるが、イベント発生率はむしろ減少していた事より、チャートの有効性が確認された。

まとめ

- ★ リスク分類を3段階にしたことで患者ごとの対応・処置が明確になった。
- ★ VAチームだけではなくスタッフ一人ひとりがVAに対しての意識付けが強くなった。
- ★ 意識の向上により穿刺部位の考慮やシャントマッサージ施行などを行った事でVA温存に繋がったと思われる。
- ★ 今後も更なる発展につとめ、結果につなげたいと思う。

日本透析医学会 COI 開示

筆頭発表者名： 中本 香菜子

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある
企業などはありません。

VAフローチャートを使った VA管理

医) 社団 つばさ つばさクリニック

中本香菜子 西連地康 宮城知徳 古谷瞬一

大山恵子 大山博司 諸見里仁